

ランナー体験記

河野 正輝

本年度、和泉市の姉妹都市であるアメリカ・ミネソタ州ブルーミントン市に派遣され、ツインシティーズマラソンに参加しました。派遣ランナーとして参加の機会をいただき、心より感謝しています。初の海外レースでは、最高気温 30℃に迫る暑さ、ゲリラ豪雨、風速 14m という過酷な環境の中、目標タイムには届かなかったものの、最後まで走り抜き完走しました。

滞在中は、ホストファミリーの Dave さんご夫妻の温かいサポートと心遣いに何度も助けられました。毎日の送迎や食事、観光案内だけでなく、家族同士のオンライン交流の機会も設けてくださり、心から感謝しています。Dave さんと奥様とも多くの時間を過ごし、文化の違いを超えた深い絆を築くことができました。まさにホームステイの醍醐味を実感しました。

また、公務として学校訪問や市長表敬訪問を行い、現地の教育環境や文化への理解を深めることができました。Dave さんは来年の泉州マラソンへの参加を希望しており、再び和泉市でお会いできる日を楽しみにしています。

今回の派遣を通じ、両市の絆の強さと国際交流の意義を改めて実感しました。この貴重な経験を支えてくれた家族や、職場で応援して下さった方々にも深く御礼申し上げます。また、これまで支えて下さった姉妹都市委員会の方々と和泉市の皆様への感謝の意を胸に、今後も微力ながら両市の友好と発展に貢献していきたいと考えています。



ツインシティマラソンランナー派遣事業参加体験記

高畑 晃久

今回、姉妹都市交流事業に参加させていただき、貴重な経験をさせて頂き、感謝申し上げます。

ツインシティズマラソンは、一緒に参加していた方のホームスティ先のデイブさんにスタート地点まで送って頂き、荷物迄預かってもらいました。

マラソン自体は最低気温22℃と高く、晴れ、雨、晴れと荒れ模様となりましたがまずは、緊張しながらスタートしました。

しかし、現地の熱狂的な応援に圧倒されながら走っていると、10 km手前でデイブさんが「アキヒサ！アキヒサ！」と声援して頂き、アメリカで自分の名前を大きな弧で呼ばれたことに思わず笑顔になりました。その笑顔で走っているのが気に入ったのか沿道の応援の方も声を掛けて頂き、走りながら感動しました。

ゴールでデイブさんと姉妹都市委員のダンさんがまた、「アキヒサ！アキヒサ！」と声を掛けて頂き無事に合流出来ました。日本から 2 人だけでブルーミントン市行き不安もありましたがホームスティさせて頂いた方や、姉妹都市委員会の方々のおかげ本当に楽しく貴重な経験をさせて頂き心より感謝いたします。

また、マラソンだけではなくブルーミントン市長への表敬訪問、消防署の見学、高校、小中学校の見学及び折り紙交流など貴重な経験をさせて頂きました。

ホームスティ先の方々には、観光案内やテニス・ピククルボール等スポーツも教えて頂き有意義な日々を過ごさせていただきました。

最後になりますが、日本から 2 人だけでブルーミントン市に行くことに不安もありましたがホームスティでお世話になった方々や、姉妹都市委員会の方々のおかげで、本当に楽しく貴重な経験をさせて頂き心より感謝いたします。

